

2017年11月3日(文化の日)に開店6周年!!
《クレーンゲーム世界一のお店ならではの文化展示》
文化の日にちなんで! 11月3日(金)、4日(土)、5日(日)の3日間限定

**クレーンゲームルーツの貴重な手動式台
店頭にて約100年前のレトロ台を無料展示します!**

株式会社東洋(埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫、以下当社)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数で、ギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」は、**2017年11月3日(文化の日)に開店6周年を迎えます**。これを記念し、**11月3日(金)から5日(日)の3日間、約100年近く前に海外で稼働していた原始的なクレーンゲーム『ERIE DIGGER』を、店内に無料展示**致します。

今回、開店6周年記念で展示する『ERIE DIGGER』は、1920年～1930年頃に海外で誕生し、当時の人達を楽しませた、**動力に電気を必要としない手動式の初代クレーンゲーム**です。それをギネス世界記録に認定されている世界一台数が多いクレーンゲーム専門店である当社が、海外から譲り受けたクレーンゲーム機になります。

1920年代中盤に、1セントや5セント等のコインで遊ぶことが出来、3辺がガラス窓の堅固な木製キャビネットに入れられたシャベルを手動で動かすこと出来る初代クレーンゲームが誕生しました。それが、**『ERIE DIGGER』**です。

※世界初のクレーンゲームは、1896年頃のキャンディディスペンサー(お金を入れると必ず商品が出てくる自動販売機)ではないかとも言われています。(諸説あります。)

初めは海外で誕生し、海外から入ってきたクレーンゲームですが、クレーンゲームの景品と親和性の高い、日本のアニメ文化も手伝って、日本ではここ数十年で独自のクレーンゲーム文化が発展しました。今では訪日外国人が日本のクレーンゲームを楽しむ姿もよく目にします。

そんな今だから、クレーンゲーム文化のルーツとなる **『ERIE DIGGER』**を、開店記念日でもある**文化の日に展示し、レトロクレーンゲーム展示を通じて、クレーンゲーム文化やその歴史に興味を持ち、いつもとは違った観点から、いつも以上にクレーンゲームを楽しんで頂ければ**と思い、今回、100年近く前のレトロクレーンゲーム機を展示させて頂くことを決定致しました。



↑展示予定の手動式クレーンゲーム
ERIE DIGGER(実物)